

## 音楽科学習指導案

指導者 海田町立海田西中学校

教諭 西本 麻衣子

- 1 日時 平成29年5月17日(水) 第6校時
- 2 学年 第1学年2組(男子19名 女子17名 36名)
- 3 場所 海田西中学校 音楽室
- 4 単元名 音楽の要素と曲想との関わりに気をつけて聴こう  
(教材名:「四季」より「春」「冬」 ヴィヴァルディ 作曲)
- 5 単元について

### (1) 単元観

本題材は、中学校学習指導要領音楽の示す第1学年「B鑑賞」(1)鑑賞の事項ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。」及び〔共通事項〕のうち音色、旋律、テクスチャ、形式を扱う。

本題材では、詩の内容に合わせて作曲された音楽から、音楽の形づくっている要素を手がかりに、音楽的な特徴を感じ取り、生徒自身の言葉で感じ取ったことを表現し、主体的に鑑賞する態度を育成することをねらいとしている。

本題材で扱う「春」は、ソネットという短い詩にイタリアの作曲家ヴィヴァルディが曲をつけたものである。この曲は3分程度の短い曲であるが、詩の内容に合わせて曲想がはっきり分かれており、詩の内容から音楽的な特徴をとらえやすいと考える。

### (2) 生徒観

本学級の生徒は、授業アンケートにおいて、「音楽の授業が好き」は約85%、さらに「鑑賞の授業が好き」は約79%であり、授業に対する意欲は高い。

また、鑑賞するときに「音楽のよさや美しさを感じ取ることは好き」は約88%、「感じ取ったことを言葉や文章で表すことは好き」は約58%であった。肯定的でない回答の理由は、「書き方が分からない」「思っても文章の表せない」というものがほとんどであった。また、「音楽の旋律や音色の特徴を聴き取っている」は約82%であり、約18%の生徒は聴き取る視点をもつことができていないことがわかる。

### (3) 指導観

指導にあたっては、音色、旋律、テクスチャに視点をおき、個人で音楽を聴き取り、その後、グループでの話し合い(GW)や全体交流を通して音楽の特徴に気付かせ、個人の音楽の聴き取る力を高めさせたい。

第一時では、曲を鑑賞し、曲想を感じ取らせ全体像をつかませる。生徒が感じ取ったことを発表させ、音色や旋律、テクスチャがどのようなものであるか、教師が生徒の言葉を使っておさえていく。使われている楽器、形式を通して曲の構成をつかませたあと、詩に曲が付けられている描写音楽であることを確認する。主体的な学びを促すために、生徒自身が「知りたい」「感じ取ってみたい」と思うことができるようパワーポイントで示す等、曲との出会わせ方を視覚と聴覚に訴えかけるものにする。そして、課題を提示し、音楽の特徴を聴き取るための視点をもたせるようにする。

第二時では、課題解決のための情報収集の場として、場面ごとの音楽の特徴を感じ取らせる

活動を設定する。まず、詩の一場面を取り上げ、書き方の視点や聴き取り方を全体で確認したあと、個人で別の詩の場面を考えさせる。その後、グループ交流で意見を広げ、全体交流で深めていく。生徒から出された意見を、実際に曲を聴く活動を通して確認させていく。また、それらがソネットの内容にどのように関わっているのか、照らし合わせるようにする。

第三時では、同じ「四季」の「冬 第二楽章」を聴かせ、前時で着目させた視点で紹介文を書かせる。初めに、曲を鑑賞し、音色、旋律、テクスチュアについて感じ取ったことをメモさせ、その後、紹介文にまとめさせ音楽的な特徴を入れながら第三者に伝わるように書かせ、鑑賞の力の定着を評価する。

## 6 単元の目標および内容

- 「春」の音楽を形づくっている音色、旋律、テクスチュア、形式や構造と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。

【音楽への関心・意欲・態度】

- 知覚・感受しながら、「冬」の音楽を形づくっている音色、旋律、テクスチュア、形式や構造と曲想との関わりを感じ取って聴き、解釈したり価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを味わう。

【鑑賞の能力】

## 7 単元の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	エ 鑑賞の能力
① 「春」の音楽を形づくっている音色、旋律、テクスチュア、形式や構造と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	① 「春」の音楽を形づくっている音色、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ② 知覚・感受しながら、「冬」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

## 8 本単元において育成したい資質・能力

本校で育成したい資質・能力は、①知識・情報 ②主体性 ③課題発見・解決力 ④チャレンジ精神 ⑤自らへの自信 の5つである。そのうち、本単元で重点的に指導したい資質・能力は次の2つである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
主体性	音楽に関心をもち、曲を聴いて曲想を感じ取ろうとしている。
自らへの自信	聴き取る視点を持ち音楽を鑑賞することで、音楽的な特徴を入れなら第三者に伝わるように紹介文を書いている。

9 単元の学習指導計画（全3時間）

時	学習内容	評価		
		関	鑑	(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)
1	<p>○曲に関心をもつ。</p> <p>○曲を鑑賞し、曲想を感じ取る。</p> <p>○形式や楽器編成を知る。</p> <p>○ソネットを知る。</p> <p><b>課題の設定</b></p> <p>○曲の聴き方のポイント（音色・旋律・テクスチャ）をつかみ、それを使って音楽の魅力を探る。</p>	○		<p>・「春」の音楽を形づくっている音色，旋律，テクスチャ，形式や構造と曲想との関わりに関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p><b>関①</b>（観察・ワークシート）</p> <p>★曲想を感じ取りながら曲を聴き，自分の言葉で表現しようとしている。</p> <p>（観察・ワークシート）</p>
2 本 時	<p><b>情報収集</b></p> <p>○場面ごとに曲を鑑賞し，音楽の特徴を捉える。</p> <p>（個人・グループ）</p> <p><b>整理分析</b></p> <p>○GWで意見交流する。</p> <p>○全体交流する。</p>		○	<p>・「春」の音楽を形づくっている音色，旋律，テクスチャ，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。</p> <p><b>鑑①</b>（観察・ワークシート）</p> <p>★曲想を感じ取りながら曲を聴き，自分の言葉で表現しようとしている。</p> <p>（観察・ワークシート）</p>
3	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>○冬 第2楽章を鑑賞し，音色や旋律の特徴を感じ取りながら曲の魅力をもとめる。</p> <p><b>振り返り</b></p> <p>○鑑賞の授業を通して，音楽を聴き取る力と，言葉で表現する力が高まったかどうかを振り返る。</p>		○	<p>・知覚・感受しながら，「春」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って，解釈したり価値を考えたりし，言葉で説明するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p><b>鑑②</b>（ワークシート）</p> <p>★音楽的な特徴を入れながら第三者に伝わるように紹介文を書いている。</p> <p>（観察・ワークシート）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★「深い学び」を実現した児童・生徒の具体</p> <p>この曲は「春」と同じ弦楽器とチェンバロで演奏されています。「春」と違い，曲の最初から最後までずっとなめらかでおだやかな感じがします。それは，ヴァイオリンが旋律をゆったりのびやかに演奏しているからです。他の楽器は静かにやさしく少しはねるような感じで演奏し，旋律を支えています。冬の中でも暖かな情景が思い浮かぶ曲です。このような紹介文が書ける。</p> </div>

## 1.1 本時の学習

### (1) 本時の目標

「春」の音楽を形づくっている音色，旋律，テクスチャ，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気，詩の内容と関わらせながら感じ取ることができる。

### (2) 本時の評価規準

#### エ 鑑賞の能力

「春」の音楽を形づくっている音色，旋律，テクスチャ，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受している。

### (3) 準備物

ワークシート，CD，掲示物，タイマー，タブレット（教師用）

### (4) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する状況」と判断した生徒への指導の手立て）	評価規準 （○）教科の指導事項 （★）資質・能力 （評価方法）
導入	1 前時の想起	◇曲や楽器について簡単な質問をし，発言しやすい雰囲気をつくる。	

展 開	2 本時の目標の確認	◇音色, 旋律, テクスチャの視点をおさ えておく。	★詩と音楽との関わり 音色, 旋律, テクス チャ
	音色, 旋律, テクスチャに着目して, 曲の特徴を感じ取ることができる。		
	3 ソネットBを全員 で聴き, 特徴を聴き 取る。	◇全員で聴き, 感じ取ったことを生徒に発 表させ, 教師が音色, 旋律, テクスチャ に分類して板書することで, ワークシート の書き方の共通認識を図る。	○「春」の音楽を形づ くっている音色, 旋 律, テクスチャ, 形 式を知覚し, それらの 働きが生み出す特質 や雰囲気を感じ受して いる。鑑①(観察・ワ ークシート)
	4 ソネットC・Dの 2つを聴き, 特徴を 聴き取る。	◇音色と旋律, テクスチャに着目させ, 特徴を捉えさせる。 ◆聞こえてくる楽器を尋ねたり, 指で旋律 線を描いたりしながら, 音色や旋律に着目 させる。	
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とてもおだやかに旋律が流れています。あまり上がり下がりがありません。</li> <li>・低音と高音が交互に鳴っています。低音はコントラバスかな。</li> <li>・CよりDの方が激しい感じがします。旋律がすどくはねあがっているからかな。</li> </ul> </div>		
	5 グループで感じ取 った特徴を交流す る。	◇音色と旋律などの視点ごとに意見を出 させ, 考えを広げさせる。 ◇机間巡視し, 生徒の意見を把握してお く。	
6 全体交流	◇挙手と指名で意見を出させ, 同じ視点で 意見を広げることができるようにする。 ◇生徒から出された意見を, 曲を聴きなが ら確認させる。 ◇ソネット(詩の内容)と関わらせながら, ソネットと音楽が密接に関わっているこ とをおさえる。	★課題解決に向けて, 場面ごとの音楽の特 徴をとらえることが できる。 (観察・ワークシー ト)	
ま と め	7 学習のまとめ・ 振り返り	視点をもって聴くと, 詩によって音楽の特徴が違うことに気付き, 詩の イメージと音楽が重なっていてすごいと思いました。他の曲でも同じよう に聴いてみたいです。	
	8 次時の予告		

## 1.2 板書計画

めあて 音色, 旋律, テクスチャに着目して, 曲の特徴を感じ取ることができる。

**課題**: どのような視点で曲の特徴を聴き取れば, より深く曲のよさを知ることができるのだろうか。

情報収集

整理分析

	音色	旋律	テクスチャ
ソネット B			
ソネット C			
ソネット D			

ソネット